

針葉樹会・一橋山岳部

ハケ岳赤岳・県界尾根合同登山報告

2015.5.31

2011年5月にハケ岳スーパートレイル200kmウォークを始めて今年で5年目となった。香港トレイルにぞっこん惚れている身としては、日本のトレイルを代表するかもしれないこのトレイルがどんなものなのかが気になりこの企画を始めた。これまで次の5回実施し、ようやく合計45kmを歩いた。

- 1回目 2011.5.28 小雨：八ヶ岳原湿原から蓼科（佐薙恭、仲田修、三井博、遠藤晶士、本間浩、三森茂充、中村雅明、金子晴彦 6時間 14km）
- 2回目 2012.5.26 晴天：天女山から三ツ頭経由ハケ岳神社（斎藤正、佐藤力、宮本英治、仲田修、本間浩、三井博、中村雅明、金子晴彦 8時間 10km）
- 3回目 2013.5.11 雨：野辺山から飯盛山経由清里（仲田修、三井博、中村雅明、金子晴彦 4時間半 8km）
- 4回目 2014.6.7 雨：八千穂自然園から雨池経由横岳ロープウェイ駅（佐薙恭、仲田修、本間浩、中村雅明、藤原金子晴彦 5時間半 8km）
- 5回目 2015.5.31 晴天：野辺山から赤岳県界尾根小天狗経由清里（佐薙恭、三森茂充、小島和人、中村雅明、藤原朋信、金子晴彦 4時間半 5km）

ルートは、初回はともかく、その後は必ずしも既定のものではなく、トレイルの近隣の垂直の登山道にもちょっと（？）足を伸ばす、いわばトレイル登山となった。唐松林の中の水平林道を黙々と歩く本来のルートはほとんど歩いていない。5回目の今回も、当初計画は松原湖から野辺山までの林道歩きだったが、新入部員を引率して同行予定だったFN短大藤原校長の直前の偵察でこれは耐え難いとの悲痛な訴えがあり、急遽赤岳の県界尾根に変更した。200kmと言う数字にこだわると山野を歩く楽しみを失いかねないと懸念したのだ。

結果、既定のトレイルを忠実に辿るのではなく、ハケ岳特有の美しい山と里を結ぶルートを見つけ出し、最後は蓼科のアダージオで愉快的な打ち上げをするというパターンが確立された。ハケ岳山麓散歩とでも名付けるのがふさわしいシリーズだ。

どんなものか？と始まった企画だが5年を経て、トレイルとは単に道をつないで距離を稼げばよいというものではないことを実感した。素敵なトレイルを作る難しさを知ったということでもある。そこで、これを機会にハケ岳スーパートレイルウォークは卒業、今後はゆっくりとハケ岳山麓散歩シリーズの新たなルートを開発して行きたいと思っている。

これまで参加いただいた皆さん、アダージオの松尾さん、おつきあいいただき大変有り難うございました。



これまでの4回のスーパートレイルウォークでは3回も雨に見舞われている。今回も決行予定日だけかなり高い確度で雨の予報だった。

いささか重い気分で岡山から東京へ向かったが予報は外れ見事な晴れとなった。1年ぶりの中央線の窓からはわずかに雪を残した青々とした甲斐駒の勇姿が眺められた。

10日前の偵察の結果、コースは野辺山から山麓の牧場地帯を抜け、赤岳の県界尾根を辿るトレイル登山に変わった。

OBはタクシーで登山口まで、急増した山岳部員は駅からウォーク、と距離は大部違うが相前後しながら同じコースを辿る計画。

野辺山からタクシーに乗り広大な牧場地帯にさしかかると、山岳部員と中村、藤原OBの一行13名が黙々と歩いているのが見えて来た。まるで山岳兵の行軍だ。

あとで会おうね！と声掛けしてOBは先行、登山口の300mほど手前の鹿よけの柵扉でタクシーを降り、10時10分歩行開始。





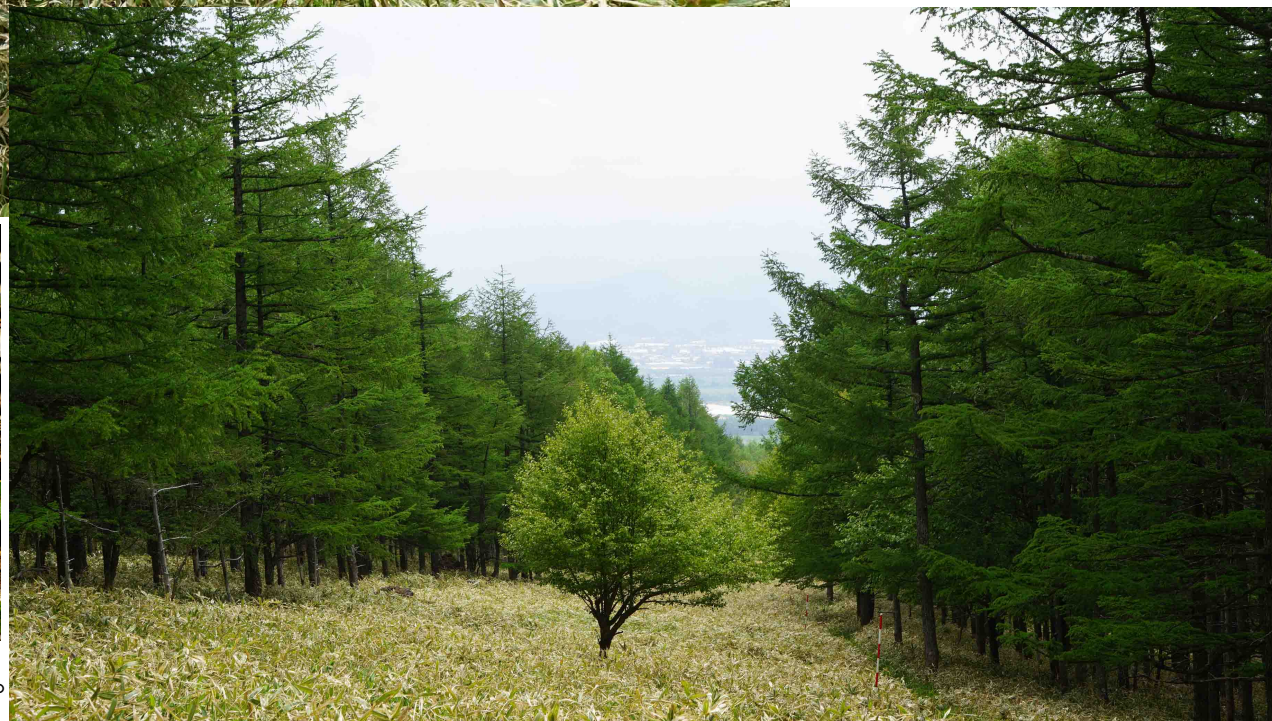
唐松林の斜面にみやこ
笹（クマザサではない・
佐籬氏）におおわれた切
り通しが一直線に伸び上
がっている。防火線とも
警察のスキー練習場とも
表記されている気持ちの
良い登り。

前方では青空に白雲が
湧き、背後には麓の耕作
地帯が広がる。

OBの意気軒昂！



花は少なくタテヤマリンドウがひっそり。



明るい一直線の登りのあとは唐松林の中のゆるやかな登り。歩き始めて1時間ほどで尾根上の道になる。

快晴続きのせいか山はすっかり乾いている。昨年春の大雪にやられた倒木が登山道を塞ぎ、みやこ笹が登山道をおおっている。入山者は極端に少ないルートの様だ。





沢筋の土砂が崩れた場所から
秩父方面の見晴らしが広がる。
茅が岳 (1704) も既に足元。
崖際に雨風で剥き出しになっ
た角礫岩がごろりと転がり、い
かにも火山。

「昼飯はどこで？」との声
が上がるが、「小天狗(2178m)！」
と決めつけられる。後続の学生
達がそろそろ近づいている筈、
小天狗までで追いつかれるわけ
にはゆかない。





辰川(3)、 内海(2)、 大谷(3)、藤原 (S4 4)
黄(院 2)、高(1)、 太田(4)、 曲(2)、 有田(3)、 坂本(1)、大矢(2)、工藤(1)
金子 (S4 6)、小島 (S4 0)、三森 (S4 0)、佐薙 (S3 1)、中村 (S4 3)

12時半、小天狗到着。ほどなく学生一行も到着。OBは「おお待っていたよ！」ときわどく余裕の対応。途中で追い抜かれたわけではなく、沽券は見事に保たれた。それにしても女性が4人もいてカラフルな若人達。



ゆっくりと昼食後、学生10人とOB2人は大天狗（2445m）往復に出発。

学生は昨日の編笠山往復に次ぐ駅からウォーク。

先頭の中村（雅）OBは「これからはプロスピードだぞ」と宣言、ギアアップして突進。ほどなく先頭から「わーっ、すげえ」と言う歓声。赤岳と権現が見事な姿を正面に見せた。

この一声の為に人は山に登り続けることを学生はまだ知らない。



学生11名との登山。どんなものになるのか想像もしていなかったが実に明るく騒々しい。はねる様に登り、大声で話し続ける。晴れ渡ったハケ岳の稜線で命がはじける。大天狗まで1時間20分の行程を50分で駆け上がる。





大天狗からはとど松（？）越しに赤岳の山頂小屋が見える。そこまで高度差450m、コースタイムでは1時間40分。今回はここから下るが、いずれ学生達は、自分の足で駅から歩いたという自信の上に、ここを登って頂上に立つだろう。

13時50分、下山開始。



真教寺尾根の向うに天狗尾根の奇岩が見える。
尾根の遥か下にはのどかな高原が広がる。
そこをカラフルな学生達が満足げに下って行く。

去年よりよっぽど強くなったよな。
でも何が強くなったんだろう？
ほかのスポーツなんかの強さとは違うよな。
忍耐することができるということを知ったんじゃないか？

そうか学生はそんなことを考える様になったのか。
OBは耳をダンボにしてあとに続く。





小天狗まで30分。
分岐から清里側の急斜面を下る。

金がないので自転車と、カメラと、登山用具と何を買おうかと思ったけど、結局今回の装備になってしまったよ。

ダンボの耳にそんな声が響く。
そうだ、その調子だ、OBは心の中で学生にエールを送る。



小天狗分岐

急坂が終れば高原状の針葉樹と笹原の道。これはトレイル風の景観。そこを若い学生が両手をふりながら隊列を組んで下って行く。かつてOBの隊列をチベット僧の行列と表現したことがあったが、学生達の隊列は正ににぎやかな祭りの隊列。



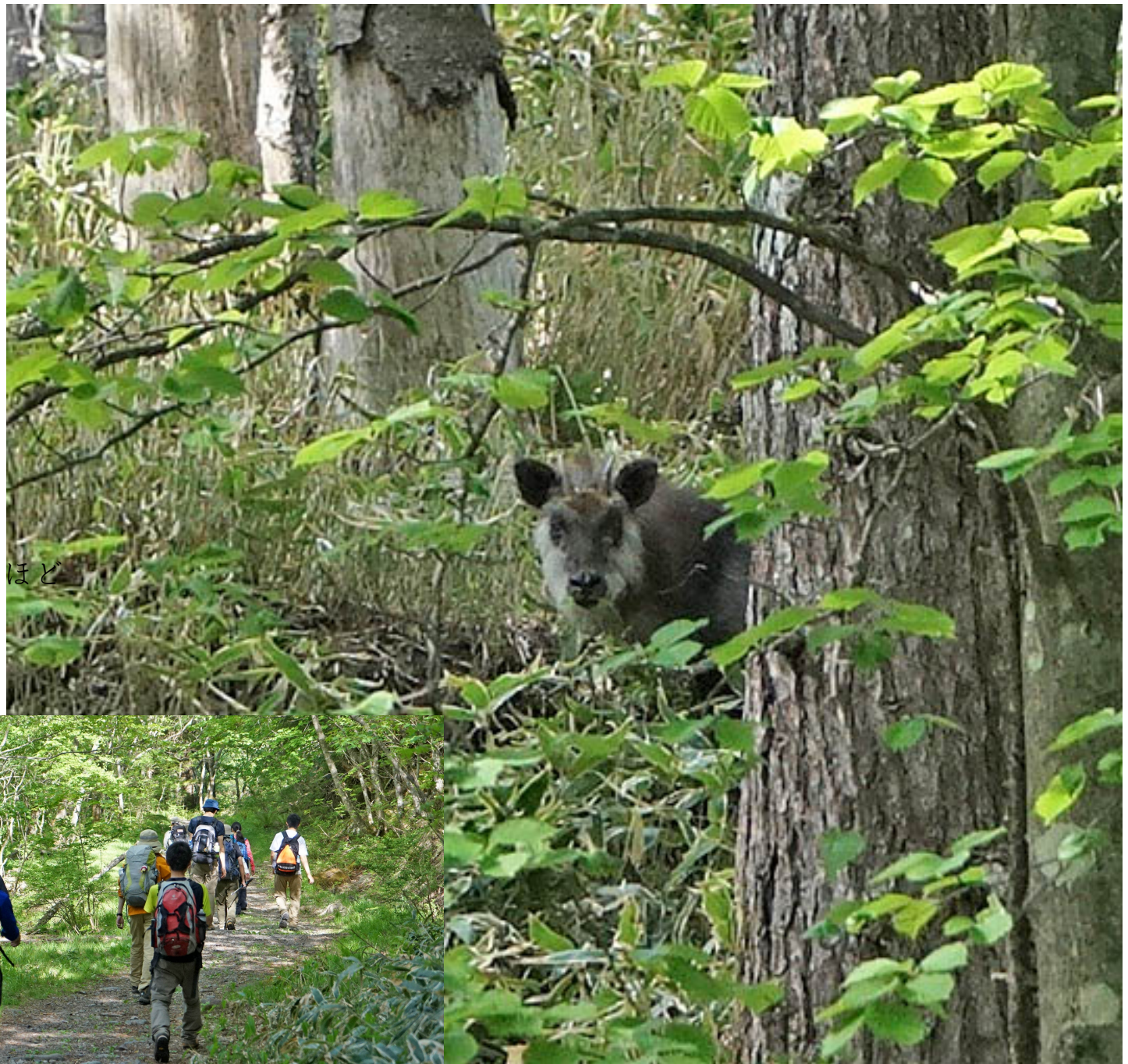
ほどなく下山口と言う所でカモシカが登場。

何だかにぎやかな明るい一行がやって来たので物珍しかったのだろう。逃げもせずじっとこちらを眺めていた。

学生達もその姿に釘付け。野生との対面だ。

編笠山と県界尾根。学生にとっておそらく初めての「山岳」の印象はどのように定着するのだろう。

3時半、清里ハイランドパーク着。学生達は引き続き清里までの最後の1時間半ほどに挑み、OBは迎えのタクシーでアダージオに向い、山行を終えた。





アダージオ宴会編



タクシーは清里ハイランドパークを4時過ぎに出発、何だかいつもより遠回りした感じ（5人で17190円）だが、ほぼ50kmを走って、5時過ぎに懐かしのアダージオに到着。。
降り立ってみれば蓼科は先ほどカモシカがいた場所とさほど変わりがない雰囲気。



恒例そばサラダ



カブのアダージオ風グラタン 山菜（ウド、ウコギ、ミョーガタケ）の天ぷら



漬物



金目鯛の酒蒸し



凍みダイコンの煮物



以上が今回のディナーの一部。今年はずかしくなったため、毎年恒例のコシアブラは2週間ほど前に終わり、天ぷらは食べられなかった。



ついでながら朝の光の中での朝食も絶品。ただし、鳥達は森に餌が多いのか現れず。

アダージオ当主、町議当選報告会



で、突然ながらアダージオ当主松尾信孝氏は、この4月、あろうことか、遙か西方の鳥取県日野郡日野町の町会議員選挙で176票を獲得、見事当選を果たしてしまい、この夜その報告会が開催された。

世の中では色々なことが起こるものだが、これは同じ頃に起きたネパールの地震に匹敵する衝撃だった。俄然、「本人に聞く」が今回のトレイルウォークの目標の一つになり、それでウォークに参加したメンバーもいるほどだった(?)。

ポスターの標語は左の通り「出る杭は 打たないで使ってください」。自分を「出る杭」と決めつけ、「使ってくれ」と意表を衝く呼びかけをする。ポスターを見た人は誰だって先ずぎょっとする。一体こいつは何者だ？ そして一瞬後、クスッと笑いながら期待せざるを得なくなり、名前が頭の中に巣食ってしまう。松尾は実は類い稀なコピーライターだったのだろうか。

町議会議員は10名。今回その内2人が議員をおり、後継者が1人だけ出た。であれば無投票で受かるかと思われた。老後の時間の過ごし方としてこんなに意義有ることは無い。そこで松尾が告示1ヶ月前に手を挙げると、何と自身も含め5人もの新人が手を挙げ、平穏な筈の選挙戦は一挙に大混線状態に変貌した。

すると松尾は追い打ちをかける様に直ちに「始まった！日野町選挙の液状化現象」と題したビラを配りながら街頭演説を始めた。この町の選挙では候補者は自分の名前を連呼するばかりでこんなことをした候補者は初めてだったらしい。町の人々はまたまたぎょっとした。

このビラが選挙戦を一層盛り上げた。無投票が一気に大混戦となり、これまでの地縁、血縁地盤が激震に見舞われ、正に液状化したのだ。見知らぬ人が選挙事務所に応援に現れた。町長からは思いがけなく、活性化してくれて有り難うとのエールが送られた。

たった5日間の選挙運動の最後の日に松尾はこう演説した。

「皆様の多くは既に投票先を決めていると思います。でもせめてもう一度一体誰が日野の将来を真剣に考えているか見直して下さい。日野にはいい所がたくさんあります。伯備線の特急が止まります。立派な交流施設があります。そんなものを見直して活性化に繋げましょう。そのために是非松尾に一票をお願いします」。12人を敵に回しての大立ち回りだ。蓼科から慌てて駆けつけた奥さんも宣伝カーから手を振り続けざるを得なかった（それが快感になったらしい）。

実は準備は周到だった。昨年末に奥さんに意向を伝えた。「どうぞ勝手に」と承諾を得た。地元で籍が3ヶ月以上無いと立候補はできない。そこで1月には住民票を移した。正月の荒神祭りの折には出るかもしれないと近所の人々に挨拶した。ウグイス嬢は見知らぬ支持者の娘で声楽をやっていた、声の粒が揃い、良く通る方をお願いした。そして見事なポスター、ビラだ。

しかし、松尾は「これは優柔不断なインテリが自分を追い込む不可欠のプロセスだった」と言い切る。そんなものか？





投票が終ってほどなく当選が決まった。初めてのことでどうして良いか分らず、応援者とただハグし合っていた。すると新聞記者が、それでは絵にならないから万歳してくれと言った。やってみたが慣れないことで新聞に出た姿はまるでホールドアップ状態だった。5分後に見知らぬ所から祝い酒が届いた。

久方ぶりに痛快な報告だった。地縁も血縁も無い町で古民家を手に入れ、改修すると同時に町議に立候補し、町も改修しようと提言する。それが日野町では見事に受け入れられた。「真面目にやれば票はちゃんと入るんだな」とある団体のトップがつぶやいたと言う。そう言うことだ。

その後、町議の仕事が始まると、小学校の運動会出席や何やかやの雑事が多いことに初めて気がつき、奥さんに呆れられた。そして、その奥さんは今後もアダージオをぼつぼつやって行くと宣言した。

松尾と言う男の知らない一面を見た気がした。これからが楽しみだ（実は日野町は岡山と鳥取の県境。岡山のぼくの家からは車で2時間ほどだ）。

その夜は、祝い酒をいただきながら話に夢中になり、いつもの松尾のクラリネット演奏会は無く、針葉樹会メンバーの噂話もそこそこに夜は更けた。翌朝、佐藤、小島さんは白樺湖へ、三森さんは霧ヶ峰へ、中村さんは知人と合流、ぼくは奈良井宿へ、そして松尾は日野町へと、それぞれの地へ向って出発した。



地縁血縁に頼らず浮点で議会で新風を吹か
 動員を集めた新人の松尾信孝さん(66)が初当選を決めた。「異色の経歴の持ち主が議会で1人くらいいてもいい。Jターンの視点を経験し、

2015 統一地方選
日野町議選10人決まる
現職が上位、新人は3人
 統一地方選後半戦で即日開票の結果、10人の選挙戦の新議員が決まった。鳥取県内唯一の日野町議選は、少子高齢化が進む中、26日、投票が行われ、地方創生の重要性を訴

| | |
|-------------------------|--------------------------|
| 博徳72 無所属現 | 竹永 明文60 無所属現 |
| 日野産高卒。農業、上菅④ | 中京大卒。日野川漁協理事、自営業、本郷⑦ |
| 利秋68 無所属現 | 中原 明79 無所属現 |
| 日野産高卒。教育民生委員長、農業、秋縄③ | 黒坂中卒。黒坂コミュニティ協会会長、農業、黒坂① |
| 信男57 無所属現 | 安達 幸博62 無所属現 |
| 日野産高卒。元民生委員、無職、下厦② | 根雨高卒。日野商工事業協理、自営業、根雨⑤ |
| 求63 共産現 | 松尾 信孝66 無所属新 |
| 根雨高卒。総務経済委員長、政党役員、高尾⑥ | 一橋大卒。自営業、貝原① |
| 克彦63 無所属新 | 金川 守仁63 無所属新 |
| 根雨高卒。鳥取日野森林組合監事、農業、板井原① | 黒坂中卒。2040年を語る会事務局、無職、本郷① |

Jターンの視点評価
新人の松尾信孝さん
 約4年前に日野町に移住した。空き家の取得に苦勞した経験から、選挙戦では空き家整備に焦点を当て、根雨・黒坂地区ではテーマを

投票率過去最

| ◇日野町議選開票結果◇ | | | |
|----------------|---------|----|--|
| (定数10—13、選管最終) | | | |
| 294 | 小谷 博徳72 | 無現 | |
| 291 | 中本 利秋68 | 無現 | |
| 225 | 松原 信男57 | 無現 | |
| 225 | 木々々 求63 | 共現 | |
| 224 | 山形 克彦63 | 無現 | |
| 222 | 山形 竹永 | 無現 | |
| 219 | 中原 明文60 | 無現 | |
| 198 | 安達 幸博62 | 無現 | |
| 176 | 松尾 信孝66 | 無新 | |
| 140 | 金川 守仁63 | 無新 | |
| 99 | 梅川 智子59 | 無現 | |
| 68 | 堀田 修二57 | 無新 | |
| 62 | 音田 直樹50 | 無新 | |

鳥取・中海

■鳥取総局 TEL0857(39)1188
 ■米子総局 TEL0859(34)5211
 ■境港支局 TEL0859(42)3529

日野町議選
Jターンの松尾さん初当選
「出る杭は使って」
証書受け責任の重さ実感

任期満了に伴い26日投票日になったのは2年前。地縁票された日野町議選で、無や血縁に頼らずに挑み、一所属新人の松尾信孝さん(66)が初当選した。米子市 管理員会から当選証書を受

出馬を固めたのは、告示の1カ月前。「今の町に飽き足りない人たちの声をききを感じ、団塊世代の血が騒いだ」。当選を左右する地縁や血縁がないのは承知の上で、素人選挙に打って出た。支援者10人と戦った5日間、選挙戦。大栗田の根雨や黒坂の街頭で1日8、10回つじ説法に立ち、町の一角に野ざらしになっていた旧商業施設活用などを訴え、「出る杭は打たないで使ってください」と呼び掛けた。寂れた限界集落で、家からそっと顔をのぞかせる独

6人(得票数)の顔が浮かび、責任の重さを実感する」と話した。松尾さんは米子東高校から一橋大に進み、世界最大のガラスメーカーなどに勤務。15年前に脱サラするまで約10年間、米国に在住した。帰国後は長野県立科町でベンション経営に乗りだし、中高齢者向けに絞った戦略が当たった。「余生は古里で」と思い立ち、妻と二人で家を物色。2013年、世帯数21戸(60人)、高齢化率43・3%の貝原集落にJターンの。

今回のトレイルウォークは学生も含め、正に新たな出発の機会となった。来年のことは全く分らない。

記録



1. タイム 5.31 (日)

野辺山着 9:49 / 県界尾根登山口 10:20
小天狗 12:30 / 大天狗 13:45
清里ハイランドパーク 15:35 / アダージオ
17:05

2. 経費 / 人

| | |
|-------|---------|
| 宿泊代 | 10,000円 |
| タクシー代 | 4,000 |
| 宴会代 | 2,000 |
| 合計 | 16,000 |

参加者より 佐藤恭

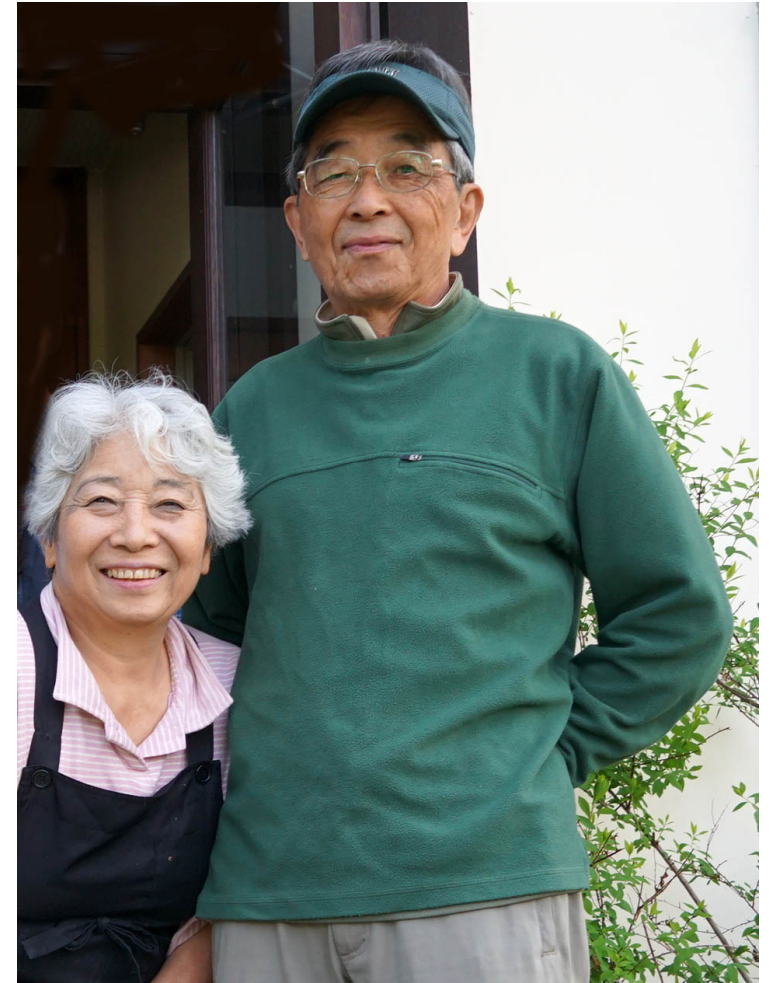
ハケ岳スーパートレイル、いつもお世話様です。金子兄の素晴らしい報告も中村兄のサポートでようやく目を通すことが出来ました。今回は赤岳東面の素晴らしい眺望がハイライトでした。これで標記のプログラムを終わりとされるなら、それは仕方がないことですが、標記にこだわらずあの北ハッ、南ハッの山域の、あまり人の歩かないエリアを探訪し、アダージオで打ち上げをするというプランを違った形でもいいですが、出来れば是非続けてほしいというのが小生の気持ちです。

アダージオの松尾兄のこと。50才で会社をやめペンション経営者に転身、今60代なかばで地方政治家に。「お主、やるのお」が小生の感想。しかしアダージオには今後とも買主が現れず、ずっと今の経営を続けてほしいものです。アダージオには、2002年の、今や物故会員となった多くの先輩や同時代人が集まった会合をはじめ、忘れがたい沢山の思い出がつまっています。

さわされど、松尾兄も金子兄の後を追いかける形で地方再生に励まれる。（先輩の金子兄が作成に関与された地域振興資料のレベルの高さに敬意。）両兄の今後の一層の活躍に期待。大いに若さを発揮してください。

山岳部現役のメンバーの活動のごく一端を身近に見て、ここまで育て上げてきた方々に、”good job done!” 今後事故のない発展を切望する次第。

話題を変えて、今回少しばかり目にした清里エリアと白樺湖周辺の凋落ぶりは目を覆いたくなるほどでした。あれはいったいどういうことなのでしょう？ 気になりました。



三森茂充（有閑齋）

ハケ岳トレイル、私は第一回目と今回ですから、まさにキセル参加者ですが、膝の痛みを抱えながらも来てよかったと思っています。

現在北杜市に住み、このトレイルを最初に企画した組織のメンバーの一人が、古山和彦（法政大学山岳部OB）と言って、元ヒマ観の同僚です。これからこのトレイルがどう紹介され、どのように受け入れられるのか、私としても興味と関心がありますので、翌日蓼科山の山頂から電話で長話をした次第です。今彼は、ネパール地震の支援に走り回っています。



左ひざの痛みが取れないままの参加は少々勇気が要りましたが、年寄りグループには何とかついて行けてホッとした次第、あれで途中落伍していたら、アダージョの宴会も口数も出ずに落ち込んだでしょう。ただ、この4-5ヶ月で3kgの体重を落としたのは大成功です。このまま。60kg台に行ければもっと自信が付くでしょう。

松尾さんの町会議員当選祝い、実に面白く有益でした。本当は大変な仕事を引き受けて体力は大丈夫か心配ですが、私が一番関心を持った「奥さんの受けとめ方」が実に前向きで、これならば少なくとも任期4年は体力、知力、気力とも十分に温存・発揮できると確信しました。あとは、正式報告とは別の本音・裏レポートの発信を期待します。

私は、82歳の宮原さん（ヒマ観社長・エベレストビューホテル創設者）の、大地震の後もポカラのホテル建設にかける情熱と闘いに甚く刺激を受け、もう後5年は隠居せずによいと、心を決めています。

小島和人

5年前からのスーパートレイル200kmウォークには、最初から興味を持っていたのですが、都合が付かず、漸く昨年参加しようとして横浜線の十日市場についたら、横浜線が人身事故で止まって、参加を断念した経緯がありますので、今年は雨が降ろうが参加しようと思っていました。

ところが天気予報が直前に変わり、穏やかな好天に恵まれ、金子さん藤原さんの選んだハケ岳山麓の静かな山道を4時間歩けました。小天狗では11人の学生諸君と合流、新人さんと、遅くなった2年生、3年生、4年生に会い、5年前の山岳部の状況からは夢のように誠に感慨深く、楽しい、嬉しい山行でした。

学生さん達との穏やかな山歩き、そして、赤岳の雄姿からすっかり元気をもらってアダージオにたどり着き、相変わらずの松尾夫人の美味しい料理と日本酒の数々、並々ならぬやる気を内に秘めた松尾町議の初選挙奮闘記に、またまた元気をもらいました。

金子さん藤原さん松尾さん、そしてご一緒頂いた佐薙さん三森さん中村さん有難うございました。

翌日、佐薙さんのお供をして、アダージオの裏から一山越えて白樺湖に出ましたが、辿る道の所々にスーパートレイルの表示がありました。来年からはハケ岳山麓散歩の新しいシリーズが始まるとの金子さんの宣言楽しみだし、松尾町議の一年生議員報告もすごく楽しみです。



中村雅明

5回に及ぶハケ岳スーパートレイルの企画・実行、本当にご苦労様でした。5回皆勤（仲田さんもその筈でしたが、直前の雲取山行で体調を崩され参加取り止めされた為、ただ1人の栄誉）しましたので、金子さんには人一倍お世話になりました。第4回目からは遠路岡山から出向いての山行幹事お疲れ様でした。よくぞ5回続けていただいたと感謝します。

お蔭様でハケ岳の山麓を巡り、時にピークを目指した（トレイル登山）ことで、ハケ岳を広く深く知ることが出来ました。スーパートレイル200kmの内の約4分の1の45kmを歩くに留まりましたが、めばしいコースに足跡を残したので満足です。



- ①事前の予報で絶望的な天気、5/30～31と好天に恵まれたこと
- ②前代未聞の15名もの新入部員を迎えた山岳部から11名（新入部員6名）もの参加者があり、OB現役の合同山行が実現したこと
- ③恒例の山行後の常宿アダージオ当主の松尾さんが4/26の岡山日野町の町議に当選されるというサプライズの祝賀会も兼ねた懇親会で盛り上がったことです。

多数の学生の参加が実現した立役者は藤原さんです。この企画にFN短大の卒業山行を重ね、前日の30日に①健脚班が観音平から編笠山往復甲斐小泉駅まで歩く②一般班（新入部員向け）が清里一飯盛山一野辺山コースを歩き、藤原山荘（風林荘）で懇親会&宿泊し、翌日ハケ岳赤岳・県界尾根合同登山という大変魅力的な計画で学生の参加を募りました。また、藤原さんの綿密な下見により学生にとっても良いコースに変更されました。

報告書の冒頭総括で、「今後はゆっくりとハケ岳山麓散歩シリーズの新たなルートを開発してゆきたいと思っている。」と書かれています。心強い限りです。新緑映える5月末に学生は山に登った後、藤原山荘に泊り、翌日OB学生合同で登山する今年のパターンを踏襲したら如何でしょうか。編笠山、大天狗で赤岳を見て感激していた学生の姿が印象的でした。新入部員にとっては部員間の親睦を深め、OBと知り合いになる有益な山行となりました。